



医療法人銀門会 RECRUIT GUIDE

WE ARE **FAMILY**

あなたらしいキャリアを、みんなで描く



銀門会理念

心をこめ保健・医療・福祉で 地域に貢献

銀門会の基本方針

01

地域に寄り添い、オンリーワンの医療と福祉を築いていきます。

02

リハビリテーション精神で、その人らしい暮らしを育てていきます。

03

地域リハビリテーションを通じて、地域包括ケアの輪を広げていきます。

04

誇りを力に、専門性を高め、未来へ挑み続けます。

理事長挨拶

私たちは、法人理念のもと、疾病からの回復だけでなく、その後の生活や在宅での暮らしまでを見据え、「その人らしい生き方」に寄り添うことを大切にしています。

なかでも当法人が特に力を入れているのが「地域リハビリテーション」の推進です。専門職や地域の多様な関係者と力を合わせ、誰もが安心して暮らせる“地域づくり・まちづくり”に取り組んでいます。

これからも地域に根ざした実践を積み重ね、日々変化する社会課題に柔軟に対応しながら、次世代につながる持続可能な運営体制の確立を目指します。そして「100年続く組織体」の実現に向け、一步一步着実に歩みを進めていきます。

私たちとともに、“地域の未来を支える仲間”になりませんか。

皆さまとの出会いを心よりお待ちしております。

医療法人銀門会 理事長 佐藤 吉沖



数字で見る銀門会

創設
1965年

事業所数
合計 **15**

総ベッド数
300床

従業員数
510人

平均年齢
40歳

男女比
3:7

平均勤続年数
10年

働きやすさの数字を
もっと見たい方は
こちら！



#01

スタッフにアンケート調査

伝統を引き継ぎ
ながら、常に
進化を続ける

賑やかな
職場

笑顔
あふれる

明るいあいさつ
から始まる
信頼の医療

Question

01

銀門会を 一言で表すと？

高め合い、
成長できる

元気に笑顔で
一生懸命

メリハリ
しっかり

チームワーク

切磋琢磨できる
同期達

さわやかな人が多い

頼りになる先輩方

Question

02

一緒に働く 仲間はどんな人？

一人にしない

向上心が高く、
面倒見が良い人が多い

何か良いことがあった時、
報告したくなる仲間

疑問があった時や
困ったら必ず声を
掛け合える

支え合い、成長を
分かち合う仲間

みんなで一緒に
歩いていく環境



2022年入職

看護師



2022年入職

理学療法士



2023年入職

社会福祉士



2014年入職

介護職員



2024年入職

管理栄養士

Q.01

多職種連携をする中で感じたことは？

ANSWER

看護師として患者さんに関わる中で、医師やセラピスト、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど専門職によるそれぞれの視点が集まることで、患者さんにとって必要な支援が明確になると日々実感しています。チーム全体で目標を共有することで退院後の生活まで見据えたケアに繋がっていると感じています。



看護師

ANSWER

初めは多職種が共通のゴールを持ち、情報を迅速かつ正確に共有することの難しさを感じました。特に相手の専門性を尊重し、意見を対等に交わすことがとても大切だと感じています。リハビリを行う際は患者さん中心の視点を常に持ち、チームとして最適なリハビリを実現するために何ができるのかを大事にしています。



理学療法士

ANSWER

多職種連携を通して、院内だけでなく地域をつなぐ役割が医療ソーシャルワーカーの専門性だと感じています。医療・介護・福祉制度や地域の社会資源を整理し、チームに情報共有することで、退院後の生活までを見据えたその人らしい支援につなげています。



社会福祉士

Q.02

最も印象に残っている経験は？

ANSWER

若年で重症の脳卒中の患者さんが重度の麻痺を持ちながらも、小学生の娘さんと旦那さんのために前向きにリハビリをされている姿がとても印象的でした。退院に向けて外出、外泊支援等を行い社会参加を支援する中で、環境面の課題も実感し、患者さんの人間性に学びながら理学療法士としても成長ができた良い経験です。



理学療法士

ANSWER

看取り期の利用者さんがご家族との面会を実現できたことです。元々、家族関係が複雑でご子息とも疎遠でしたが、多職種の連携によりご家族の気持ちも徐々に前向きになり、ついにお孫さんも同伴し十数年振りに対面での面会が果たせました。ご本人はもちろん、私たち職員にとっても、とても感動した心に残る経験でした。



介護職員

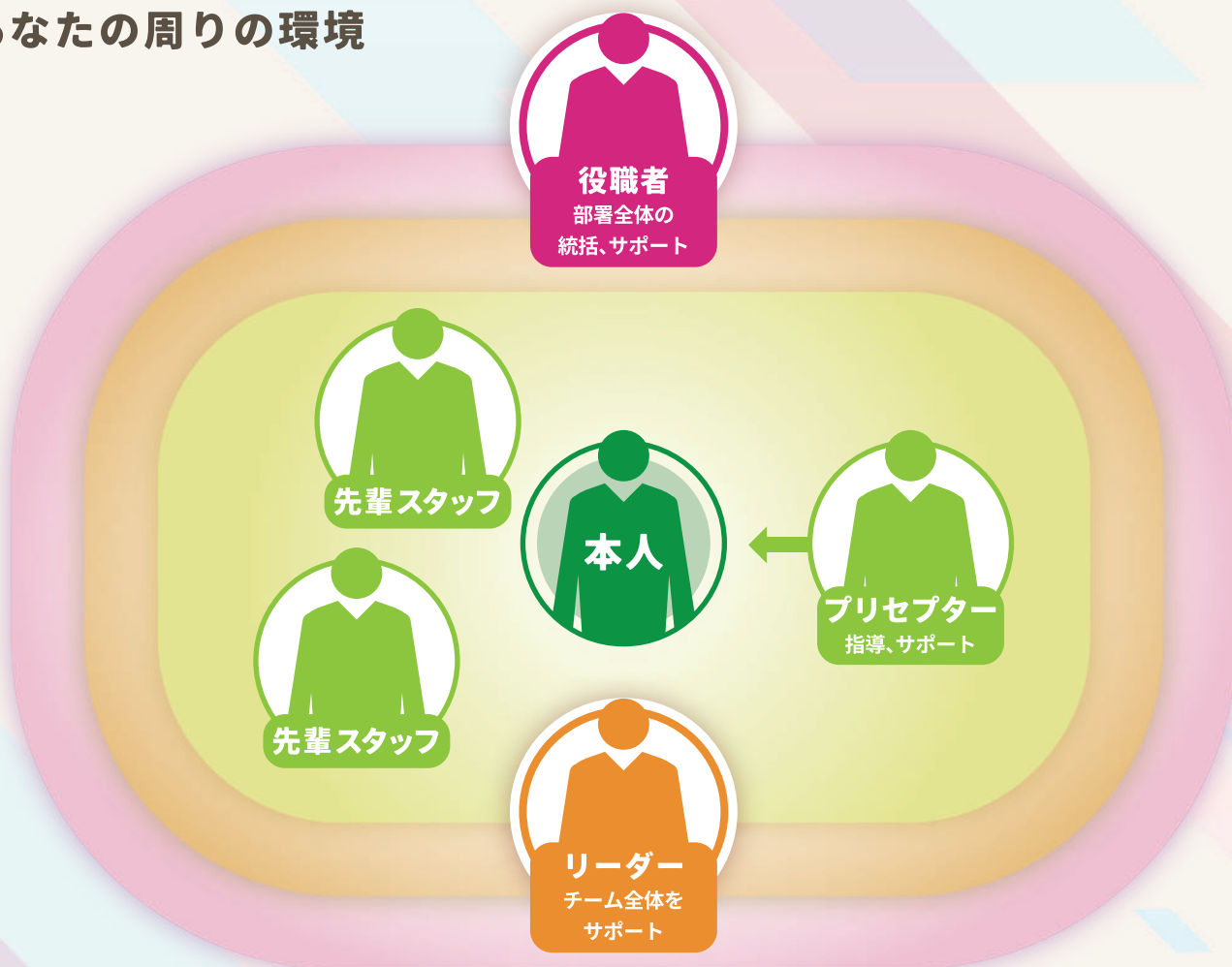
ANSWER

食事やおやつイベントで、多職種の職員と協力して利用者さんの笑顔が見られた瞬間は忘れられません。その笑顔のために、もっと力になりたいと思いました。



管理栄養士

▶あなたの周りの環境



※職種により呼称、体制が多少異なります

4月

新人研修

- ・ 法人理念
- ・ ビジネスマナー
- ・ 安全管理
- ・ 一次救命処置
- ・ 虐待防止
- ・ 個人情報保護
- ・ コンプライアンス
- ・ ハラスメント 等

現場研修

法人内の各部署で研修

9月

フォローアップ研修

半年の振り返り



※その他、職種ごとに必要な研修を随時実施



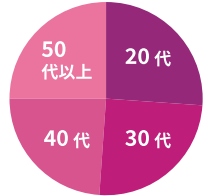
看護師数

常勤 74 名

非常勤 10 名

年代別グラフ

20 代	22 人
30 代	21 人
40 代	20 人
50 代以上	21 人



看護師

NURSING

**私たちは、患者さんがその人らしく生活できるよう、
最善のリハビリテーション看護・介護を提供します。**

リハビリテーション看護は、患者さんのできることを一つずつ取り戻していく過程に寄り添えることが大きな魅力です。多職種と連携し、回復をチームで支えるやりがいを実感できます。教育体制も整っており、リハビリ看護の基礎から専門性まで段階的にスキルを高められる環境です。働きやすい勤務体制や相談しやすい職場風土を大切に、安心して成長できる職場づくりに取り組んでいます。ぜひ当院で、「その人らしい生活の再構築」を支える看護を一緒に実践しましょう。



看護部長

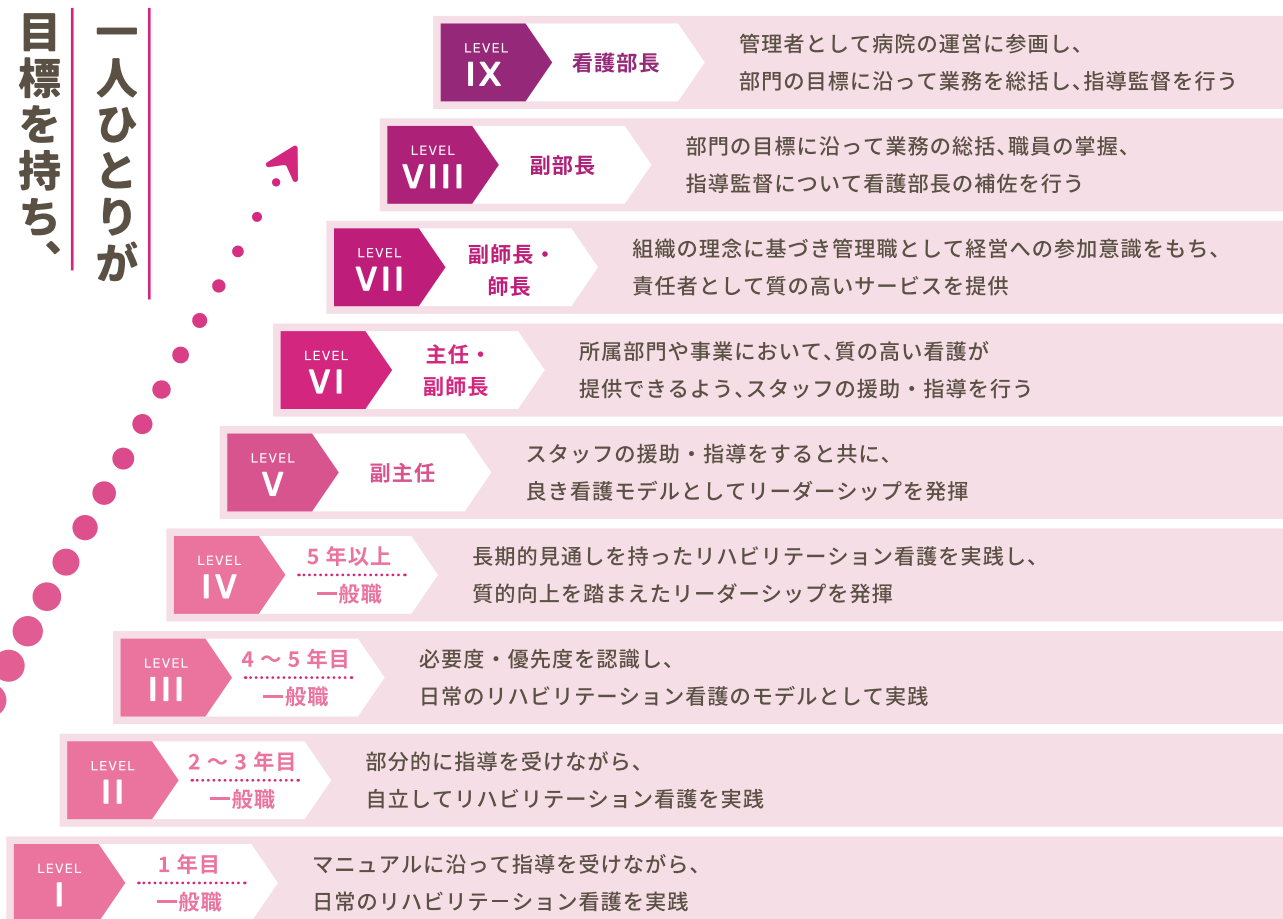
CAREER LADDER

ラダーシステム

継続的に学べる

目標を持ち、

一人ひとりが



🕒 日勤・夜勤のタイムスケジュール

☀️ 日勤の1日 [8:30 ~ 17:30]

8:30▶ 情報収集、朝礼	電子カルテで患者さんの情報収集 多職種で連絡事項や夜間の報告を共有
9:00▶ 看護ミーティング	日勤看護師間での情報共有
8:30▶11:30 部屋周り	ケースカンファレンス、リハビリテーションカンファレンス、 受け持ち患者さんの体調確認・処置等、コール対応
12:00▶ 昼食対応	配下膳、昼食介助、投薬、口腔ケア
11:30▶13:30 昼休憩	11:30 ~ もしくは 12:30 ~ 交代で休憩
13:00▶17:30 部屋周り	受け持ち患者さんの処置・リハビリテーション カンファレンス等、コール対応、面談対応等
14:30▶ 午後のラジオ体操	当番制で担当

日中のお仕事の様子を
動画で CHECK ▶▶▶



🌙 夜勤の1日 [16:00 ~ 翌9:00]

16:00▶ 情報収集、準備	情報収集、新患者の申し送り 経管栄養、夕食後薬・就寝薬の準備等
17:00▶19:00 夕食準備、 イブニングケア	夕食時のケア(配下膳、配薬、内服の確認、 食事介助、食事量の確認、口腔ケアの介助、 トイレ介助、臥床の介助)
19:00▶21:00 処置、就前薬の 投与	トイレ誘導、おむつ交換、尿器・ポータブルトイレの設置 点滴、点眼、吸入、就寝前薬の与薬、V/S、口腔ケアなどの処置 ※スタッフは状況を見ながら30分ごと休憩
21:00▶6:00 消灯、起床に 向けての準備	21時：消灯(定期的に各部屋のラウンド) 業務状況のチェック、記録 朝食後薬の準備 ※交代で仮眠
6:00▶8:30 起床、朝食準備	ポータブルトイレの片付け・清掃・排尿処理 経管栄養の準備・実施 起床時の介助、朝食時のケア
8:30▶9:00 日勤者へ引継ぎ	朝礼(必要な申し送り) 夜勤業務の最終確認・記録

▶ 認定看護師数 資格取得支援も手厚く行っています！

● 感染管理	2名	● 脳卒中リハビリテーション看護	1名
● 緩和ケア	1名	● 回復期リハビリテーション看護師	8名
● 認知症看護	2名		

学会等参加実績

- リハビリテーション・ケア合同研究大会
- 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会
- 日本褥瘡学会学術集会
- 日本環境感染学会総会・学術集会
- 日本摂食嚥下リハビリテーション学術大会 他

▶ 研修プログラム

- 新人教育プログラム
- アマーバチーム支援型教育制度
- 入職時研修 etc



研修プログラムを
もっと詳しく！



INTERVIEW



先輩インタビュー

嬉しさとともに寄り添う看護を実感できる大切な時間

リハビリ看護は大変なこともあります。反応が乏しい患者さんのケアの中で、反応が返ってきたり、表情が少し明るくなる瞬間は、嬉しさとともに寄り添う看護を実感できる大切な時間です。そんな小さな変化を一緒に積み重ねていけることに、やりがいを感じています。できなかったことが少しずつできるようになり、ご家族と一緒にその喜びを分かち合えたときや、回復されていく姿を見られたときは、「一緒に歩めていたんだな」と感じて嬉しくなります。患者さんの可能性を信じ、その人らしさを取り戻す過程を支えること。その積み重ねが、私のやりがいであり、励みになっています。



お給料の
嬉しい
POINT

夜勤手当 UP で、過去 5 年間で **7.7%** も
給与が上がっています！



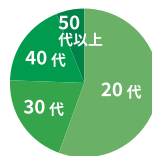


リハ職員数
(病院)

常勤 105名
非常勤 10名

年代別グラフ

20代	64人
30代	23人
40代	21人
50代以上	7人

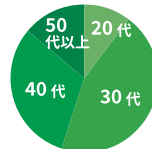


リハ職員数
(在宅・入所部門)

常勤 21名
非常勤 8名

年代別グラフ

20代	3人
30代	13人
40代	9人
50代以上	4人



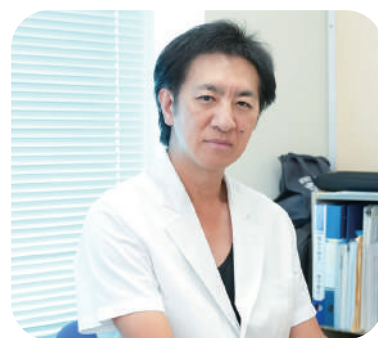
PT/OT/ST REHABILITATION

追求します 専門性を！
提供します 質の高いサービスを！

一人ひとりの患者さんが生き生きとした生活を取り戻し、安心して在宅復帰できるよう、障害に応じた豊富な治療手段を提供しています。

病棟ごとに配置されたセラピストが多職種と連携し、病棟生活での活動向上から在宅生活につながる支援まで、切れ目のないサポートを心がけています。

患者さんの笑顔を引き出すために、共に語り、共に悩み、共に学び、共に成長していきましょう。



リハビリテーション部長

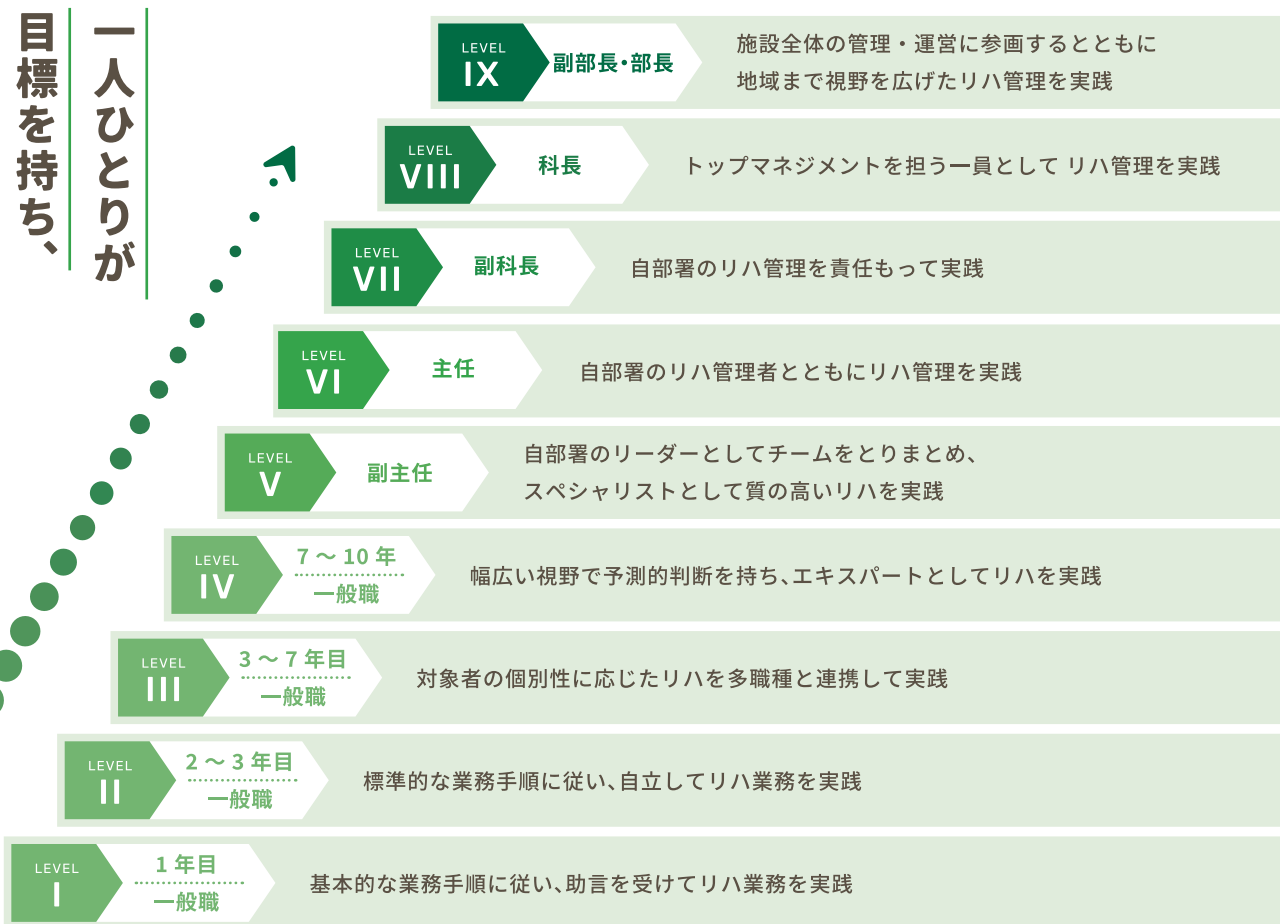
CAREER LADDER

ラダーシステム

継続的に学べる

目標を持ち、

一人ひとりが



🕒 リハ職員のタイムスケジュール

リハ職員の1日 [OT編]

8:30>8:50
情報収集

1日のスケジュールを確認
患者さんのカルテや他職種から情報収集

8:50>12:10
リハビリ
テーション業務

病棟やリハビリテーション室にて
リハビリテーション業務を実施

12:10>13:10
昼休憩

13:10>16:10
リハビリ
テーション業務

病棟やリハビリテーション室にて
リハビリテーション業務を実施

16:10>17:30
記録、記録作成、
掃除等

記録や書類の作成、病棟や
リハビリテーション室の掃除

日中のお仕事の様子を
動画でCHECK >>>



▶ リハスタッフ勉強会

- ・症例検討会
- ・外部講師による専門講義
- ・実技研修(評価・ハンドリング・介助技術・シーティング等)
- ・リハビリテーション機器研修
- ・多職種合同勉強会
- ・認定療法士による研修会
- ・研究発表リハーサル

疾患・領域別勉強会

- ・脳血管障害
- ・整形外科疾患
- ・高次脳機能障害
- ・呼吸・内部障害
- ・摂食嚥下障害
- ・失語症

▶ 研修プログラム

新人教育プログラム

プリセプター制度

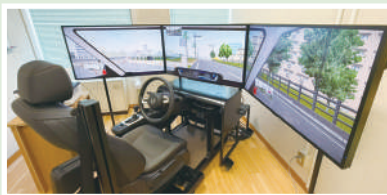
セラピスト基礎研修 etc



研修プログラムを
もっと詳しく! >>>



リハ機器・施設紹介



INTERVIEW



先輩インタビュー

自信が戻っていく瞬間に立ち会えることが何よりの喜び

作業療法士としてのやりがいは、その人が大切にしている“作業”を再び自分の力でできるようになる過程を共に歩めることです。食事や更衣などの日常動作から、趣味・社会参加といった活動まで幅広く関わり、患者さんの「やってみたい」という気持ちを形にしていきます。小さな成功が積み重なり、表情が明るくなったり、自信が戻っていく瞬間に立ち会えることが何よりの喜びです。その人らしい生活を取り戻すお手伝いができることに、魅力と責任を感じています。学んだ知識やアイデアがそのまま誰かの力になる瞬間が多く、成長を実感しながら働ける仕事だと感じています。





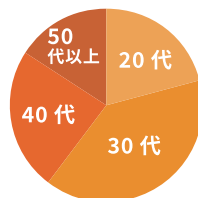
介護職員数

常勤 37名

非常勤 1名

年代別グラフ

20代 8人
30代 15人
40代 9人
50代以上 6人



介護福祉士 / 介護職員

CARE BUSINESS

介護職員の1日

8:30▶ 朝の業務	朝食の後片づけ、トイレ誘導、口腔ケア、利用者さんを居室ベッドに誘導
9:00▶11:30 入浴介助	機械浴での入浴介助
12:00▶ 昼休憩	
13:00▶14:00 昼食後の片付け	昼食後の片付け、トイレ誘導、口腔ケア、利用者さんを居室ベッドに誘導
14:30▶ おやつ介助	利用者さんのおやつ準備、おやつ介助
15:30▶ 排泄介助	トイレ誘導、オムツ交換
16:00▶ レクリエーション	レクリエーションの開催
17:00▶ 夕食の準備	利用者さんをダイニングに誘導し、夕食の準備
17:30	日勤業務終了

日中のお仕事の様子を
動画でCHECK ▶▶▶



▶ 教育プログラム

月	期間区分	主な学習・習得内容
4月	職場理解・基礎習得	利用者の顔・名前・居室の把握 基本的なコミュニケーション 情報収集の方法 報告・連絡・相談(報連相)の基本
5~6月	生活支援の基礎習得	食事介助、口腔ケア、排泄介助の方法 嚥下状態の観察ポイント 清潔保持の考え方
7~8月	身体介護の拡大 実践強化期	入浴介助の方法 衣類の着脱介助の習得 移乗介助の反復練習
9月~	夜勤業務習得期	夜間の見守り・巡視 記録の書き方 緊急時対応の基本

INTERVIEW



先輩インタビュー

多職種でチームとなり一緒に実現していける

介護の仕事でのやりがいは、ケアに入ることによって利用者さんからいただく「ありがとう」という言葉や、日々の関わりの中でふと見せてくれる笑顔です。また、できることが増えたことで自信につながり、誇らしげな表情が見られると、これまでの支援がご本人の力になっていると実感できます。そして、利用者さん一人ひとりの大切にしている想いや願いを汲み取り、叶えるために今何が必要かを考え、課題を達成しながら多職種でチームとなり一緒に実現していけることが1番の大きなやりがいに繋がっています。



日常の
ひとこま



活動の様子を
InstagramでCHECK

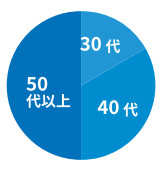




薬剤師数 常勤 3 名
非常勤 3 名

年代別グラフ

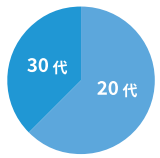
20代 0人
30代 1人
40代 2人
50代以上 3人



管理栄養士数 常勤 8 名
非常勤 0 名

年代別グラフ

20代 5人
30代 3人
40代 0人
50代以上 0人



薬剤師 / 管理栄養士
PHARMACIST / DIETITIAN

薬剤師の 1 日

8:30▶9:00 病棟朝礼参加	多職種間での情報共有
9:00▶9:15 薬局ミーティング	1日の業務内容の共有、伝達事項等
9:15▶10:00 調剤	入院・施設の調剤と監査、注射払い出し
10:00▶12:00 入退院対応	入院患者の面談と持参薬調査 退院時の服薬指導
12:00▶13:00 昼休憩	
13:00▶16:00 病棟活動	定期・臨時薬を配薬カートへセット カンファレンス参加 服薬指導 調剤・監査
16:00▶17:30 委員会活動	各種関連委員会への参加

詳しくはこちらを
CHECK ▶▶



管理栄養士の 1 日

8:30▶9:00 情報収集・申し送り	入退所者の情報収集・朝礼、夜勤者からの申し送り、1日の予定確認
9:00▶9:30 カンファレンス・評価	各階 CC の出席、各評価
9:30▶11:30 測定、記録	体重測定、栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング、R4 入力、昼食点検、各種会議
11:30▶12:40 嚥下評価、ラウンド	ミールラウンド(経口維持加算)、食事介助、各階ラウンド
12:40▶13:40 昼休憩	
13:40▶14:00 ミーティング	昼礼
14:00▶ カンファレンス、レク、イベント	各階 CC の出席、各評価、わくわくメニューやおやつレク・体験型イベント、記録、R4 入力、計画書作成
16:30▶ 検討	各種会議
17:15▶ 情報共有	夕礼、記録

日中のお仕事の様子を
動画で **CHECK** ▶▶



先輩インタビュー

薬剤師

楽しさとやりがいを持って取り組める職場

回復期病棟では、3~6ヶ月を目安に患者さんを担当し、ご自宅での生活背景も踏まえながら、長期的かつ広い視野で支援しています。患者さんとの関わりもしやすく、日々の変化を近くで感じられる環境です。また、処方設計にも関わりながら、チーム医療の体制のもと、カンファレンスでスタッフと連携し合い、楽しさとやりがいを持って取り組める職場です。



管理栄養士

栄養状態の改善に繋がった時はやりがいを感じます

管理栄養士は在宅復帰を目指しリハビリを行う患者さんを食事で支えています。全患者さんに対し栄養管理計画を立案していますが、特に低栄養の患者さんには多職種を交え積極的にアプローチしており、その結果、栄養状態の改善に繋がった時はやりがいを感じます。入院期間が長いという回復期の特徴を生かし、栄養状態の経過を追うことができるのは回復期ならではです。また、リハビリへの意欲向上や日々の活力に繋がるよう、病棟内で食事イベントを実施しています。食事を通して一人でも多くの患者さんの喜ぶ姿や笑顔を見ることが私たちの原動力になります。

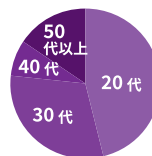




社会福祉士数 常勤 12 名
非常勤 1 名

年代別グラフ

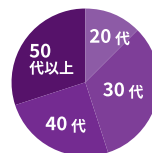
20代 6人
30代 4人
40代 1人
50代以上 2人



事務職員数 常勤 38 名
非常勤 2 名

年代別グラフ

20代 5人
30代 13人
40代 10人
50代以上 12人



社会福祉士 / 事務職員

SOCIAL WORKER / ADMINISTRATIVE STAFF

社会福祉士の 1 日

8:40>8:50 病棟朝礼	1日の予定確認
8:50>9:00 課内朝礼	本日の入院情報や、各病棟からの申し送りの共有
9:30>10:30 定期カンファレンス	カンファレンスへ参加
11:00>12:00 入院対応(インテーク)	入院されてきた患者さん、ご家族との入院時面接
12:00>13:00	昼休憩
13:30>16:00 面談・訪問等	自宅訪問 患者さん・ご家族を交えての面談 退院前カンファレンス
17:10>17:20 夕礼	1日の振り返り、情報共有

日中のお仕事の様子を
動画で CHECK



事務職員の 1 日

8:30>9:00 朝礼・受付準備	受付回り、自動精算機の準備 退院患者さんの精算確認作業
9:00>10:00 受付(退院精算)	入院費の支払い、預かり金の返金などの 退院精算業務
10:00>12:00 受付(入院、その他)	入院患者さんの手続き(保証金の預かり等) 当座口座処理業務
12:00>13:00	昼休憩
13:00>16:00 カルテチェック	診療情報管理士としてカルテ整理、入力作業等
16:00>17:00 締め作業	現金、クレジットカード、自動精算機の締め作業
17:00>17:30 終礼・片付け	1日の振り返りと明日の確認

日中のお仕事の様子を
動画で CHECK



INTERVIEW



先輩インタビュー

社会福祉士

退院に対して前向きに考えられるよう、日々支援をしています

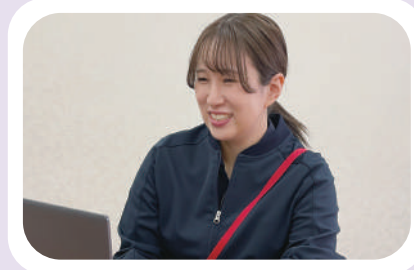
回復期リハビリテーション病棟の社会福祉士は、患者さん・ご家族が退院に対して前向きに考えられるよう、日々支援をしています。リハビリテーションを通じて、身体機能の改善が図られることによって、自信を取り戻し、退院時には「自宅での生活を再開できる」と笑顔で話してくださる瞬間は大きなやりがいを感じます。入院したその日から支援がはじまっており、多職種カンファレンスの実施をはじめ、支援計画の作成や社会制度の活用などの提案、相談を通して、安心して生活が再開できるよう患者さん・ご家族に寄り添うことで支援が展開されることも大きな魅力の一つです。



事務職員

自分の成長を実感できることが日々の達成感

病棟クラークとして、自分の仕事を通して病棟スタッフの業務が円滑に進むようサポートできていると実感できる時に、大きなやりがいを感じます。私は未経験で入社しましたが、教育制度がしっかりしており、分からないことや不安なことを気軽に相談できる体制があるため、安心して業務に取り組むことができています。その中で日々の業務を通じて医療に関する知識が少しずつ身につく、最初は分からなかった業務がスムーズにこなせるようになることで、自分の成長を実感できることが日々の達成感につながっています。



キャリア & ライフストーリー



制度を利用し3人の子育てと仕事を両立。 上司や同僚の協力で感謝しながら経験を積み奮闘してます！

職種 看護師

1年目

入職

リハビリ看護についてよく知らなかったが、母が事務員として勤めており馴染みがあったため新卒で就職。



2年目

結婚

職場で素敵な先輩発見。プリセプターが共通の上司だったという運命も手伝い、見事結婚までこぎつける。



3年目

第1子出産 & 復帰

産まれるまで女の子と言われていたが、まさかの男児誕生。育休を終え、翌年復帰。



6年目

第2子出産 & 復帰

プリセプター経験後、第2子出産のため産休に。翌年、育児短時間制度を利用し復帰。



25年目

病院へ異動 & 主任に昇格

約13年ぶりに病院へ。優しいスタッフ達に支えられ、在宅看護の経験を活かし病棟業務に奮闘中！！



19年目

在宅部門へ異動

通所リハ・通所介護・訪問看護を経験。これまでの経験を活かしつつ、その人らしい生活を支援し、充実した毎日を送る。



15年目

第3子出産 & 復帰

次男は病弱で入院や通院を繰り返すも、上司や同僚の支えにより仕事を継続でき感謝。



13年目

老健へ異動 & 副主任に昇格

介護施設勤務の中で多職種協働の楽しさと難しさを学ぶ。病棟とは異なるリハ看護の視点を持つきっかけとなった。



スキルアップを図りつつ経験を重ね、 異動や昇格をし着実に成長を感じる日々を送っています。

職種 作業療法士

1年目

入職

恩師の勧めもあり、作業療法士として回復期リハビリテーション病棟で勤務が始まる。



4年目

学会発表

脊髄損傷関連で、山梨県 OT 学術大会とリハケア合同研究大会で発表を行う。



7年目

兼職・学会発表・資格習得

地域リハ広域支援センター兼職。実習指導者資格を取得。臨床整形外科学術集会で発表を行う。



8年目

異動

障害者病棟へ異動。脊髄損傷リハのスキルアップを図りつつ、難病リハを経験。



15年目

異動

病院へ異動となり、ロボットや VR などの先進医療医療機器分野に関わっていく。



13年目

異動

甲州デイサービスセンターきぼうへ異動、所長としてマネジメントや介護分野を経験。



12年目

昇格

主任へ昇格。



9年目

昇格 & 講師

副主任へ昇格、山梨県 OT 学術大会にて、脊髄損傷関連で教育講座講師を務める。



福利厚生・待遇

充実した福利厚生を整えており、
職員が長く働き続けるためにさまざまな支援を行っています。

🕒 短時間正規制度

「職員一人ひとりの QWL (Quality Of Work Life) の向上」を目指して導入しました。育児や介護などの理由で長時間働けない方でもライフスタイルに合わせた働き方が選択できます。



3人の子育てをしながら仕事と家庭の両立が難しく、パートへの身分変更を検討していました。しかし、**短時間正規職員制度ができたので、正規職員としてキャリアを積むことができ、また社会保障もされているため、家庭と仕事の両立をしながら安心して働くことができます。**

😊 育児支援

育児と仕事の両立ができるよう育児支援力を入れています。女性職員の育児休業取得率100%、男性の育児休業取得実績もあります。



提携の保育園がいくつもあるため、子どもの預け先に困ることなく、職場や自宅の近くから探すことができました。私は通勤途中にある小規模で保育料が無料のところを選びました。法人が提携している保育園のため、安心して子どもを預けて仕事をすることができます。

🎓 奨学金貸与制度

当法人の業務に従事しようとする学生に対して、就学支援を目的に奨学金貸与制度を設けています。奨学金を貸与した期間に相当する期間、当院で勤務した場合は返還が免除となります。

※貸与期間が1年未満の場合は1年以上勤務した場合に返還免除。



私は在学時に**月5万円を借りられる奨学金制度を利用しました。返還が免除になる条件もあり、安心して借りることができました。経済的な負担が減り、特に国家試験前の勉強に集中できて大変助かりました。**

🏆 永年勤続表彰

勤続10年、20年、30年、40年の職員に対し、永年勤続表彰を行っています。勤続年数に応じて報奨金の贈呈とリフレッシュ休暇を付与しています。



勤続10年の永年勤続表彰にて、リフレッシュ休暇と金一封をいただきました。正直、こんなにいただけるの？と嬉しくなりました(笑)いただいた休暇と金一封で少し贅沢な旅行へ。心身ともにリフレッシュでき、仕事へのモチベーションにも繋がりました。

💖 各種福利厚生サービス

福利厚生サービス・ヴァンフォーレ甲府の無料観戦チケット配布・ゴルフ優待券配布など、職員にプライベートも充実した生活を楽しんでもらえるよう整えています。



福利厚生サービスで飲食店やレジャー施設等の割引があり、プライベートでよく利用しています。県内外問わず、利用できるサービスが多いので、日常生活から旅行先でも幅広いサービスがお得に利用できて助かっています！

Q1

この病院・施設、ぶっちゃけ入職の決め手は？

職場の雰囲気が良かったのとワークライフバランスが実現できると思ったからです。多職種で連携しながら誰かのために働ける、やりがいのある仕事だと思い決めました。



Q3

職場の雰囲気、一言で表すと？

みんなやるときはやる、学び続ける姿勢がすごい！そしてなにより、明るくてあたたかい、相談しやすい職場です！

Q4

仕事とプライベート、どうやって両立してる??

プライベートは思いっきり自分の好きなことをすると決めています。仕事帰りや休日にお気に入りのご飯屋さん、カフェに行ったり、旅行に行ったりして気分転換することが多いです。

Q5

病院・施設の「推しポイント」は？

仕事量が多いですが、職種・経験年数・年齢を超えて人間関係がいい！これに勝るものなしです。

Q2

入職前と後のギャップ、正直どうだった？

回復期は忙しいイメージがありましたが、実際はメリハリがしっかりしていて働きやすかったです。思っていた以上に相談しやすく、若手同士でも支え合えるので、安心してスタートを切ることができました。

最後に!!

若手職員の

ぶっちゃけ TALK

当院で活躍している若手職員に、入職のきっかけから日々のやりがいまで、率直な意見を聞いてみました！

Q6

仕事で大切にしているマイルールは？

一人で考えないことです。専門職チームの意見を聞いて、患者さん・利用者さんにとってその時に一番必要なことを考えるようにしています。

Q7

病院・施設の「中の人」から、未来の仲間へ一言！

成長したい人にはすごくおすすめの環境です。若手が多くて相談もしやすいので、不安があっても大丈夫です。一緒に楽しく働きましょう！



Follow Us
インターンシップ情報やリアルな情報を発信中！



採用サイト Instagram Youtube(病院) Youtube(ケア・ホーム)

見学随時受付中!

あなた自身の目で、先輩の働く姿や
院内・施設の雰囲気を確認してください。
ご希望の方は以下までお気軽にご相談ください。

お申込みはこちらから!

銀門会 採用サイト



いつでも
メッセージ
受付中!



LINEはこちら

日常の様子を
発信しています♪



Instagram



医療法人
銀門会

〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031

甲州リハビリテーション病院



在宅支援センター甲州ケア・ホーム

